

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

公表:令和4年3月24日

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			現在は適切であるが、利用者がこれ以上増えると考えなければならないと思う
	2 職員の配置数は適切であるか	5			適切である
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		1	/遊ぶ場所、座って活動する場所を分けたり、イラストのカード等を用いて視覚的情報伝達を行っている。設備面では、トイレや手洗い場など不便なこともある。手話環境がまだ足りないので、ろうスタッフがいて欲しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5			・毎日の清掃、不定期ながら消毒(おもちゃも含む)を行っている ・子どもの活動に合わせ、マットと机を使い分けている
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		1	事業所全体として今以上に取り組む必要があると思う
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			毎年行い、活動の参考にしている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			HPで公表している
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5			久留米町聴覚特別支援学校の先生方にご協力いただき改善に努めている
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			スタッフ全員が年に一度は外部研修に参加し、また事業所内研修も行っている
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5			日々の記録を基に保護者と面談を行い、子どもの発達を見通したうえで作成している
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			地域支援の部分がまだ十分とは言えない
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			行われている
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			担当者を中心に、スタッフ間で共有しながら行っている
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			恒例になっている季節的なものもあるが、まだ改善の余地はある
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5			利用者の年齢や状況、あそびの段階を話し合っ作成している	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		1	・時間をもう少し長くとりたい ・必ずではなく、できない時もある
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1		4	終了後に話し合うことは時間的に難しいので、次の日に確認しあう
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			下書き、入力共にスタッフで分担して行っている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			月に一度の定例ミーティングの時に必ず利用者一人一人の振り返りをスタッフ全員で行い、次の月までの到達目標を設定し、そのために必要な工夫や支援を話し合う
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			参加している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			5	現在対象児がいません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			5	現在対象児がいません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			主に久留米聴覚特別支援学校と行っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			主に久留米聴覚特別支援学校と行っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			資料等回覧している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4		ほぼない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	1	研修等の案内の回覧は行いが、積極的な参加には至っていない
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			お迎えに来られた時に積極的にその日の出来事をお伝えするようにしている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4		1	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			利用契約時に説明を行っている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5			行っている

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いいない	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			相談があった場合は、なるべくその場にいるスタッフにも話の内容を共有しながら多角的な助言になるように心がけている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4		保護者同士の連携支援は今後の課題である
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			月に一度、かいじゅうの森だよりを配布し、活動の様子や今後の予定を周知している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			注意している
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			障害特性や子どもの状態を分析する技術、研修はまだまだ必要だと思う
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4		地域に対しての働きかけは足りないとと思う
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5			・危機管理対策チームを中心に、毎月防災の日を設定し、防災頭巾を被る練習や、身を守る練習、非難する練習を年間を通して行っている・防災紙芝居も行っている・各マニュアルは部屋の中に常に掲示してある
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5			保護者からの伝達に応じて対応している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		1	現在対象児がいません
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			研修を行い、どのようなことが虐待に当たるのかの話し合いを行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4		1	身体拘束の必要性がわからない

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていたくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。